



宇宙のダークバリオン探査を目指す小型X線 科学衛星DIOSに向けた超伝導X線カメラの開発

講師：酒井 和広 氏

(JAXA宇宙科学研究所・学振特別研究員PD)

日時：2015年10月14日(水) 15:00 – 16:00

場所：理学部 B棟2階 B1206教室

アブストラクト:

首都大学東京を中心としたグループで現在提案中の小型科学衛星DIOSは、近傍宇宙で未だ観測されていないバリオンの直接観測を目指している。この正体として有力な候補である中高温銀河間物質(WHIM)は、宇宙の大規模構造や銀河団外縁部に温度10万から1000万度程度のガスとして低い密度で分布すると考えられている。この薄く広がったガスから発せられるX線の直接観測を目指し、我々は超伝導遷移端型温度計(TES)を用いた数百素子からなるマイクロカロリメータアレイ、あるいは超伝導X線カメラの開発を行っている。本講演では、DIOS衛星の背景と超伝導X線カメラの仕組みや開発状況について述べる。

博士前期課程物理科学専攻の学生へ
セミナーに出席するようにして下さい。
研究会などでやむを得ず欠席する場合は
世話人に申し出て下さい。

世話人: 物理科学科 太田 直美

(連絡先: C236-1 / 内線3386 / naomi@cc.nara-wu.ac.jp)